

# 『平成19年度津市民防災大学の実施報告』

平成20年1月から3月まで、防災知識の豊富な人材の育成を行い、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、市民や各分野の専門家で構成された実行委員会と市防災危機管理室が協働し、津市民防災大学を開講しました。

津市民防災大学は、単に防災講演を聞く講座ではなく、受講生自らが参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、各実行委員がこれまでの様々な経験やノウハウを持ち寄り、企画立案を行いました。

また、講義のひとつであったグループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の各種事業を通じて、防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業ができました。

## ○ 事業概要等

開講期間 平成20年1月18日から3月22日

受講者数 42名

実施主体 津市民防災大学実行委員会



## ○ 第1回講義「地震防災学総論」

平成20年1月18日（金）19:00～21:00

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、川口 淳さん（三重大学大学院工学研究科准教授）より地震に関する基礎知識を学びました。

## ○ 第2回講義「地震防災学詳論Ⅰ」

平成20年1月30日（水）19:00～21:00

「地震体験談」として、阪神淡路大震災当時、災害支援ボランティアとして活動した寺本弘伸さん（日本災害救援ボランティアネットワーク）を招き、活動中に体験したトラブル等の事例を伺い、その後、寺本さんから出題されたテーマについて、その解決策をグループで話し合いました。



## ○ 第3回講義「演習」

平成20年2月17日（日）午前の部：10:30～12:00

午後の部：13:00～16:00

午前中は、「防災グルメ講座」と題し、櫻井雄司さん（ビストロ・シャテル オーナーシェフ）に、長い避難所生活時に配給される弁当等を材料に、簡単にできる料理実習を体験しました。

その後、日本の災害研究の第一人者である小村隆史さん（富士常葉大学環境防災学部准教授）による災害予防型図上演習（DIG）をグループに分かれ実施しました。

○ 第4回講義「地震防災学詳論Ⅱ」

平成20年2月27日(水) 19:00~21:00

「災害時要援護者体験」として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや視覚障害、聴覚障害の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定した体験をしました。また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記体験をしました。



○ 第5回講義「実習」

平成20年3月9日(日) 13:00~17:00

「タウンウォッチングと防災マップづくり」として、NPO法人ミューチャルエイド東海のスタッフ指導のもと、市役所本庁舎周辺を、災害時に危険なところや避難できる場所、防災倉庫などを記録しながら歩き、それを基に、受講生自らで防災マップを作成しました。

○ 第6回講義「卒業論文発表」

平成20年3月22日(土) 13:30~16:00

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を文章にし発表しました。

その後、閉講式が行われ、全過程履修者には、修了証書が授与されました。



○ オープンキャンパス講演「地域の知の拠点シンポジウム」

平成20年1月27日(日) 13:00~16:20

津市民防災大学開講の記念として、三重県及び三重大学と連携し、「今日からはじめる防災の取組」をテーマに、三重県総合文化センターで津市民防災大学オープンキャンパス講演が開催されました。

講演では、川口 淳さん(三重大学大学院工学研究科准教授)の他、櫻井しのぶさん(三重大学医学系研究科看護学科教授)、南部美智子さん(災害ボランティアネットワーク鈴鹿理事長)等によるパネルディスカッションが行われ、受講生の他、多数の参加者は、今私たちができる事について、熱心に耳を傾けていました。

○ 視察研修

平成20年3月20日(木) 8:00~19:30

津市民防災大学の修学旅行として、神戸市の「人と防災未来センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。



## 『平成20年度津市民防災大学実施報告』

平成20年10月から1月まで、防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、平成20年度津市民防災大学を開講しました。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業ができました。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成20年10月1日（水）から平成21年1月24日（土）

受講者数 38名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成20年10月1日（水）

19:00～21:00

会 場：安濃中央公民館

参加者：34名

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳さんより地震に関する基礎知識を学びました。



### < 第2回講義 地震防災学詳論 I >

日 時：平成20年10月14日（火）

19:00～21:00

場 所：安濃中央公民館

参加者：34名

京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授 矢守克也さんを招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。

講義では、大規模災害時に決断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが判断した結論の理由などをグループで討論しながら、「減災」の知恵について話し合いました。



### < 第3回講義 演習 >

日 時：平成20年11月9日（日） 午前の部：10：30～12：00

午後の部：13：00～16：00

場 所：芸濃総合支所

参加者：30名

午前中は、「防災グルメ講座」と題し、ビストロ シャテール オーナーシェフ 櫻井雄司さんより、乾パン、アルファ米などの非常食を使い、簡単にできる料理実習を体験しました。

長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。

午後からは、災害ボランティアネットワーク鈴鹿南部 美智代さんによる災害図上演習（DIG）をグループに分かれ実施しました。



### < 第4回講義 地震防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成20年11月26日（水）

19：00～21：00

場 所：安濃中央公民館

参加者：33名

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験をしました。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの方から、要約筆記の基礎体験をしました。

### < 第5回講義 実習 >

日 時：平成20年12月14日（日）

13：00～17：00

場 所：津市役所本庁舎

参加者：30名

「タウンウォッチングと防災マップづくり」として、NPO法人ミューチャルエイド東海のスタッフ指導のもと、災害時に危険なところや安全な場所、防災資材などを記録しながら、市役所本庁舎周辺を防災の観点で歩き、それを基に、受講生自らで防災マップを作成しました。



< 第6回講義 卒業論文発表 >

日 時：平成21年1月24日（土）

13:00～16:00

場 所：安濃中央公民館

参加者：15名

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表しました。

その後、閉講式が行われ、全課程履修者には、修了証書が川口実行委員長より授与されました。



< オープンキャンパス講演 地域防災教育センター研修 >

日 時：平成20年11月24日（祝）

13:30～15:30

場 所：三重県津庁舎

参加者：15名

津市民防災大学のオープン参加型事業として、三重県及び津市と連携し、「阪神淡路大震災と自主防災活動」をテーマに、三重県津県民センターで津市民防災大学オープンキャンパス講演が開催されました。

講師である野島断層保存館 副館長 米山 正幸さんは阪神淡路大震災当時の北淡町の様子、地域のコミュニケーションの大切さ、命の大切さについて、熱く語られました。

受講生を含む多数の参加者は、阪神淡路大震災の体験談に熱心に耳を傾けていました。



< 視察研修 >

日 時：平成21年1月10日（土）8:00～19:00

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター

参加者：20名

神戸市の「人と防災未来センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。



## 『平成21年度津市民防災大学実施報告』

平成21年10月から12月まで、防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、平成21年度津市民防災大学を開講しました。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業ができました。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成21年10月14日（水）から平成21年12月13日（日）

受講者数 32名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成21年10月14日（水）

19:00～21:00

会 場：安濃中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳さんより地震に関する基礎知識を学びました。



### < 第2回講義 地震防災学詳論 I >

日 時：平成21年10月26日（月）

19:00～21:00

場 所：安濃中央公民館

大阪大学大学院人間科学研究科准教授渥美公秀さんを招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。

講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論しながら、「減災」の知恵について話し合いました。



### < 第3回講義 演習 >

日 時：平成21年11月15日（日） 午前の部：10:00～12:00

午後の部：13:00～16:00

場 所：芸濃総合支所

午前中は、「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテール オーナーシェフ 櫻井雄司さんより、乾パン、アルファ米などの非常食を使い、簡単にできる料理実習を体験しました。

長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。

午後からは、災害ボランティアネットワーク鈴鹿南部 美智代さんによる災害図上演習（DIG）をグループに分かれ実施しました。



### < 第4回講義 地震防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成21年11月25日（水）

19:00～21:00

場 所：安濃中央公民館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験をしました。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの方から、要約筆記の基礎体験をしました。

### < 第5回講義 実習 >

日 時：平成21年11月29日（日）

13:00～17:00

場 所：津中央公民館

「タウンウォッチングと防災マップづくり」として、NPO法人ミューチャルエイド東海のスタッフ指導のもと、災害時に危険なところや安全な場所、防災資材などを記録しながら、市役所本庁舎周辺を防災の観点で歩き、それを基に、受講生自らで防災マップを作成しました。



< 第6回講義 卒業論文発表 >

日 時：平成21年12月13日（日）

13:00～16:00

場 所：安濃中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表しました。

その後、閉講式が行われ、全課程履修者には、修了証書が川口実行委員長より授与されました。



< オープンキャンパス講演 地域防災教育センター研修 >

日 時：平成21年11月21日（土）

13:30～15:30

場 所：三重県津庁舎

津市民防災大学のオープン参加型事業として、三重県及び津市と連携し、「阪神淡路大震災～その体験を語る～」をテーマに、三重県津県民センターで津市民防災大学オープンキャンパス講演が開催されました。

講師である人と防災未来センター語り部 谷川三郎さんは芦屋市役所職員として阪神淡路大震災の対応にあたられた当時の様子や、命の大切さについて熱く語られました。

受講生を含む多数の参加者は、阪神淡路大震災の体験談に熱心に耳を傾けていました。



< 視察研修 >

日 時：平成21年12月5日（土）

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター

神戸市の「人と防災未来センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。



## 『第4期(平成22年)度津市民防災大学 実施報告』

平成22年10月から平成23年2月まで、防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第4期(平成22年度)津市民防災大学を開講しました。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業ができました。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成22年10月1日(木)から平成22年2月6日(日)まで

受講者数 32名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 第1回講義 地域防災学総論 >

日 時：平成22年10月1日(木)

19:00~21:00

会 場：安濃中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳先生より地震に関する基礎知識を学びました。



### < 第2回講義 実習・演習 >

日 時：平成22年10月17日(日) 午前の部：10:00~12:00

午後の部：13:00~16:00

場 所：芸濃総合支所

午前中は、「防災グルメ講座」と題し、ビストロ シャテール オーナーシェフ 櫻井雄司さんより、被災時に支給される弁当やおにぎりなどを使い、簡単にできる料理実習を体験しました。

長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。

午後からは、災害ボランティアネットワーク鈴鹿



南部 美智代さんによる災害図上演習（D I G）をグループに分かれ実施しました。



< 第3回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成22年11月4日（木）

19：00～21：00

場 所：芸濃総合文化センター

三重大学生物資源学研究科 葛葉 泰久教授を招き、「風水害を中心とした自然災害に対する自助・共助」と題して講義を行っていただきました。教授のから風水害のあらましや、自然災害に対する自助・共助のあり方について、わかりやすく楽しく解説して頂きました。

< 第4回講義 地震防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成22年11月11日（木）

19：00～21：00

場 所：安濃中央公民館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属する電動車椅子を利用される方やアレルギーの子どもを持たれる方、聴覚障害の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験をしました。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの方から、要約筆記の基礎体験をしました。



< 第5回講義 実習 >

日 時：平成22年11月21日（日）

13：00～17：00

場 所：津中央公民館

「タウンウォッチングと防災マップづくり」として、NPO法人ミューチャルエイド東海のスタッフ指導のもと、災害時に危険なところや安全な場所、防災資材などを記録しながら、市役所本庁舎周辺を防災の観点で歩き、それを基に、受講生自らで防災マップを作成しました。





< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

日 時：平成22年12月10日（金）

19:00～21:00

場 所：安濃中央公民館

日本災害救援ボランティアネットワーク 寺本 弘伸  
専務理事を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成さ  
れた防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。

講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論しながら、「減災」の知恵について話し合いました。



< 第7回講義 地震防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成23年1月13日（木）

19:00～21:00

場 所：芸濃総合文化センター

「市民とともに進める津市の防災行政」として、津市役  
所危機管理部 水谷 渉次長から、災害に対する行政のあ  
りかた、発災時における津市の災害対策本部の体制や役な  
などについて講義がありました。

過去の災害事例の紹介や、津市の財政状況などを詳しく説明され、行政の災害に対する取組や現状について学習しました。

< 第8回講義 卒業論文発表 >

日 時：平成21年2月6日（日）

13:00～16:00

場 所：安濃中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生が  
これまでに学んだことや今後に向けての抱負等  
を発表しました。

その後、閉講式が行われ、全課程履修者には、  
修了証書が川口学長より授与されました。



< オープンキャンパス講演 美し国おこし・三重さきもり塾 公開シンポジウム >

日 時：平成22年11月7日（日）

13:00～17:00

場 所：三重県教育文化会館 6階 多目的ホール

津市民防災大学のオープン参加型事業として、三重さきもり塾と連携し、「災害に備えたまちづくり・人づくり」をテーマに、三重県津県民センターで津市民防災大学オープンキャンパスを実施しました。受講生を含む多数の参加者は、災害対策に関する講義に熱心に耳を傾けていました。

#### < 視察研修 >

日 時：平成23年1月23日（日）

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター

ひょうごボランティアプラザ

震災遺跡（神戸メリケンパーク）

神戸市への視察研修を実施しました。

参加した受講生は、記念館や遺跡の展示、ボランティアプラザにおける「語り部KOBEL995」による震災体験談に接し、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。



## 『第5期（平成23年度）津市民防災大学事業概要』

平成23年10月から平成24年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第5期（平成23年度）津市民防災大学を開講しています。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成23年10月4日（火）から平成24年2月26日（日）まで

受講者数 45名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成23年10月4日（火）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授川口 淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。

### < 第2回講義 実習Ⅰ >

日 時：平成23年10月18日（火）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

大阪大学大学院人間科学研究科准教授渥美公秀さんを招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論しながら、「減災」の知恵について話し合いをしました。

< 第3回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成23年11月1日（火）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

「市民とともに進める通史の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、受講生とのディスカッションを行いました。

< オープンキャンパス講演 >

日 時：平成23年11月13日（日）

9：00～16：00

場 所：香良洲公民館

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの方の指導のもと、災害時に危険なところや津波避難ビル、防災資機材などを記録しながら、各班に分かれて三重県津庁舎周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自らで防災マップを作成しました。

午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要援護者の避難などの想定が与えられ図上演習を行いました。

< 第4回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成23年11月23日（水）

9：00～16：00

場 所：ホテルグリーンパーク津

津市民防災大学のオープン参加型事業として、美し国おこし三重・さきもり塾主催のシンポジウムに参加しました。「三重県で大災害を防ぐために ～東日本大震災に学ぶ～」をテーマに復旧、復興の課題などの基調講演に受講生を含む多数の参加者は熱心に耳を傾けていました。

午後からは、災害ボランティアネットワーク鈴鹿南部 美智代さんによる災害図上演習（DIG）をグループに分かれ実施しました。

< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成23年12月20日（火）

19：00～21：00

場 所：サンデルタ香良洲

風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びました。

< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

日 時：平成24年1月13日（金）

19：00～21：00

場 所：久居総合福祉館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行いました。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの方から、要約筆記の基礎体験をしました。

#### < 視察研修 >

日 時：平成24年1月22日（日）終日

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター（神戸市中央区）  
千歳公園（神戸市須磨区）

神戸市の「人と防災未来センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。

また、同市内の千歳公園（防災公園）へも足を伸ばし、震災の経験を基に造られた自主防災会、消防団なども使用できる防火水槽（100m<sup>3</sup>）、マンホールトイレ、井戸、応急救護所にもなるベンチなどを見学するとともに、震災を体験した語り部の方の体験談を聞きました。

実体験を基にした体験談を熱心に聞き、受講生の防災意識もより一層高まった様子でした。

#### < 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成25年2月5日（木）

10:00~13:00

場 所：芸能保健センター

「防災グルメ講座」と題し、ピストロシャテル オーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験しました。長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。

#### < 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成25年2月26日（日）

13:00~16:00

場 所：久居総合福祉館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表しました。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されました。

## 『第6期（平成24年度）津市民防災大学事業概要』

平成24年10月から平成25年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第6期（平成24年度）津市民防災大学を開講しています。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成24年10月4日（木）から平成25年2月24日（日）まで

受講者数 34名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成24年10月4日（木）

19:00～21:00

場 所：安濃中公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。



### < 第2回講義 実習 I >

日 時：平成24年10月14日（日）

10:00～13:00

場 所：芸濃保健センター

「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテールオーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験しました。長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。

< 第3回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成24年11月8日（木）

19：00～21：00

場 所：三重県津庁舎

「市民とともに進める通史の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、受講生とのディスカッションを行いました。



< オープンキャンパス講演 >

日 時：平成24年11月23日（金・祝）

13：30～15：30

場 所：ホテルグリーンパーク津

津市民防災大学のオープン参加型事業として、美し国おこし三重・さきもり塾主催のシンポジウムに参加しました。「三重県で大災害を防ぐために ～東日本大震災に学ぶ～」をテーマに復旧、復興の課題などの基調講演に受講生を含む多数の参加者は熱心に耳を傾けていました。



< 第4回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成24年12月2日（日）

9：00～16：00

場 所：三重県津庁舎

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの方の指導のもと、災害時に危険なところや津波避難ビル、防災資機材などを記録しながら、各班に分かれて三重県津庁舎周辺を防

災の観点で歩き、それを基に受講生自らが防災マップを作成しました。

午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要援護者の避難などの想定が与えられ図上演習を行いました。



< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成24年12月21日（金）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びました。



< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

日 時：平成25年1月7日（日）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

大阪大学大学院人間科学研究科准教授渥美公秀さんを招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を

想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論しながら、「減災」の知恵について話し合いました。



< 視察研修 >

日 時：平成25年1月20日（日）終日

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター（神戸市中央区）  
千歳公園（神戸市須磨区）

神戸市の「人と防災未来センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、阪神淡路大震災での被害の様子を目の当たりにし、防災対策の重要性を再認識しました。

また、同市内の千歳公園（防災公園）へも足を伸ばし、震災の経験を基に造られた自主防災会、消防団なども使用できる防火水槽（100m<sup>3</sup>）、マンホールトイレ、井戸、応急救護所にもなるベンチなどを見学するとともに、震災を体験した語り部の方の体験談を聞きました。

実体験を基にした体験談を熱心に聞き、受講生の防災意識もより一層高まった様子でした。





< 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成25年2月7日（木）

19：00～21：00

場 所：安濃中公民館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行います。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの方から、要約筆記の基礎体験をします。

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成25年2月24日（日）

13：00～16：00

場 所：安濃中公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表します。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されます。



## 『第7期（平成25年度）津市民防災大学事業概要』

平成25年10月から平成26年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第7期（平成25年度）津市民防災大学を開講しています。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成25年10月3日（木）から平成26年2月23日（日）まで

受講者数 40名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成25年10月3日（木）

19：00～21：00

場 所：津市中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口 淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。



### < 第2回講義 実習Ⅰ >

日 時：平成26年2月1日（土）

10：00～13：00

場 所：津市中央公民館

「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテルオーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験しました。長い被災生活では、様々な面から大きなストレスを受けることが予想されるため、被災者が協力して「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。



昨年度講義の様子

「みんなで楽しく」取り組むことの重要性を学びました。



### < 第3回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成25年11月10日（日）

9：00～16：00

場 所：津市中央公民館

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの方の指導のもと、災害時に危険なところや津波避難ビル、防災資機材などを記録しながら、各班に分かれて中央公民館周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自ら防災マップを作成しました。

午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要援護者の避難などの想定が与えられ図上演習と発表を行いました。



### < 第4回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

（オープン講座）

日 時：平成25年11月28日（木）

19：00～21：00

場 所：津市中央公民館

今年度は、オープン講座として、受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、「市民とともに進める津市の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、参加者とのディスカッションを行いました。



< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

日 時：平成25年12月9日（月）

19：00～21：00

場 所：アスト津

京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也教授を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習しました。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論し、発表しました。



< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

(オープン講座)

日 時：平成25年12月19日（木）

19：00～21：00

場 所：津市中央公民館

今年度2回目のオープン講座として、受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びました。





< 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成26年1月9日（木）

19：00～21：00

場 所：津市中央公民館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行いました。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの講師により、要約筆記の基礎体験をしました。

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成26年2月23日（日）

13：00～16：00

場 所：津市中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表します。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されます。



昨年度の修了式の様子

< 視察研修 >

日 時：平成26年1月19日（日）終日

研修先：静岡県地震防災センター

静岡県袋井市 高台施設「湊命山」

静岡県の「地震防災センター」への視察研修を実施し、参加した受講生は、東海地震を中心に南海トラフにおける地震や津波について講話や各種体験をし、防災対策の重要性を再認識しました。

また、袋井市の高台施設「湊命山」を見学し、津波からの避難のあり方について話合われる場面も見られました。



## 『第8期（平成26年度）津市民防災大学事業概要』

平成26年10月から平成27年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第8期（平成26年度）津市民防災大学を開講します。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成26年10月2日（木）から平成26年2月22日（日）まで

受講定員 40名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成26年10月2日（木）

19:00～21:00

場 所：津市中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口 淳氏から地震に関する基礎知識を学びます。



開講式の様子



講義の様子

### < 第2回講義 実習 I >

日 時：平成26年10月4日（土）

9:00～16:00

場 所：津市中央公民館

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの方の指導のもと、災害時に危険な場所や津波避難ビルなどを記録しながら、各班に分かれて中央公民館周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自ら防災マップ作成を行い、午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要援護者の避難などの想定が与えられ図上演習と発表を行います。

< 第3回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成26年10月25日（土）  
10:00～13:00

場 所：津市中央公民館

「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテールオーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験します。今年度は、被災直後の物資の流通が少ない時にいかにして「楽しく食事をするか」をテーマに講義を行います。



講義の様子

< 第4回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成26年11月17日（月）  
19:00～21:00

場 所：アスト津

京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也教授を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習します。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論し、発表を行います。



講義の様子

< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

(オープン講座)

日 時：平成26年11月29日（土）  
13:00～16:00

場 所：津市中央公民館

今年度も、オープン講座として、受講生以外



講義の様子

の市民にも参加を呼び掛け、「市民とともに進める津市の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、参加者とのディスカッションを行います。

また、今年度は語り部 KOBÉ 1995より講師をお招きして、阪神淡路大震災の被災体験談をお話いただきます。

#### < 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

(オープン講座)

日 時：平成26年12月11日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

今年度2回目のオープン講座として、受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びます。



講義の様子

#### < 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成27年1月22日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

災害時要援護者への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障害、自閉症の方のお話を聞いた後、視覚障害者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行います。

また聴覚障害の方への情報伝達訓練として、要約筆記サークルの講師により、要約筆記の基礎体験を実施します。



講義の様子

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成27年2月22日（日）

13:00～16:00

場 所：津市中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表します。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されます。

< 視察研修 >

日 時：平成27年2月頃（終日）

研修先：名古屋大学減災連携研究センター

輪中の郷

今年度より一般公開された名古屋大学連携研究センターにて各種教材による減災ギャラリー、10年以上にわたって収集してきた新聞記事、映像資料、書籍、歴史地震資料、ハザードマップや市町村史などの展示がされた減債ライブラリー、建物全体を活用した振動実験環境や免震装置がガラス越しに見学可能な面新ギャラリーなどの見学を行い防災意識の向上を図ります。

また、近年の台風の大型化、ゲリラ豪雨等に対する防災意識の向上を目的とし、輪中の郷にて、伊勢湾台風の被害資料等による研修を行います。

## 『第9期（平成27年度）津市民防災大学事業概要』

平成27年10月から平成28年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、第9期（平成27年度）津市民防災大学を開講します。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成27年10月1日（木）から平成28年2月28日（日）まで

受講定員 40名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成27年10月1日（木）

19:00～21:00

場 所：津市中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口 淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。



講義の様子

### < 第2回講義 実習 I >

日 時：平成27年10月3日（土）

9:00～16:00

場 所：津市中央公民館



講義の様子

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸氏の指導のもと、災害時に危険な場所や津波避難ビルなどを記録しながら、各班に分かれて中央公民館周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自ら防災マップ作成を行い、午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要援護者の避難などの想定をした図上演習と発表を行いました。

< 第3回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成27年10月31日（土）

10:00～13:00

場 所：津市中央公民館

「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテールオーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験します。今年度は、「作って、食べて、学ぶ」というテーマで、被災直後の物資の流通が少ない時を想定した講義を行いました。



講義の様子

< 第4回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

（オープン講座）

日 時：平成27年11月14日（土）

13:00～16:00

場 所：津市中央公民館

今年度も、オープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、「市民とともに進める津市の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、参加者とのディスカッションを行いました。

また、今年度は語り部 KOBE 1995より講師をお招きして、阪神淡路大震災の被災体験談をお話いただきました。



講義の様子

< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

日 時：平成27年11月24日（火）

19:00～21:00

場 所：アスト津

京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也教授を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習します。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論し、発表を行いました。



講義の様子

< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

(オープン講座)

日 時：平成27年12月10日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

三重大学生物資源学研究科の葛葉泰久教授を招き、今年度2回目のオープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びました。



講義の様子

< 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成28年1月28日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

災害時に支援が必要な方への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障がい、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障がい者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行います。



講義の様子

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成28年2月28日(日)

13:00~16:00

場 所：津市中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表します。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されます。



昨年の閉校式の様子

< 視察研修 >

日 時：平成28年2月14日（終日）

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター  
千歳公園

人と防災未来センターでは、震災当時の様子を忠実に再現した映画の他、被災した町の様子をリアルに再現したジオラマ、当時の避難所の様子や支援活動、復興活動に関する多くの展示資料などの見学を行い防災意識の向上を図ります。

千歳公園では、震災当時の様子、その後の復興の過程などについて、当時を知る皆さんから直接お話を伺い、そのあと復興した町を見学します。

## 『平成28年度（第10期）津市民防災大学事業報告』

平成28年10月から平成29年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、平成28年度（第10期）津市民防災大学を開講しました。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行いました。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行いました。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成28年10月6日（木）から平成29年2月26日（日）まで

受講者数 31人（内修了者24人）

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成28年10月6日（木）

19:00～21:00

場 所：津市中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。



講義の様子

### < 第2回講義 実習 I >

日 時：平成28年10月15日（土）

9:00～16:00

場 所：津市中央公民館

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸氏の指導のもと、災害時に危険な場所や津波避難ビルなどを記録しながら、各班に分かれて中央公民館周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自ら防災マップ作成を行い、午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要配慮者の避難などの想定をした図上演習と発表を行いました。



講義の様子

< 第3回講義 実習Ⅱ >

日 時：平成28年10月30日（日）  
10:00~13:00

場 所：津市中央公民館

「防災グルメ講座」と題し、ビストロシャテールオーナーシェフ 櫻井雄司氏の指導を受け、身近な食材を使用し、簡単にできる料理実習を体験します。今年度は、「作って、食べて、学ぶ」というテーマで、被災直後の物資の流通が少ない時を想定した講義を行いました。



講義の様子

< 第4回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成28年11月9日（水）  
13:00~16:00

場 所：アスト津

京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也教授を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習します。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論し、発表を行いました。



講義の様子

< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

（オープン講座）

日 時：平成28年11月19日（土）  
19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

今年度も、オープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、「市民とともに進める津市の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、参加者とのディスカッションを行いました。

また、今年度は語り部 KOBE 1995 より講師をお招きして、阪神淡路大震災の被災体験談をお話いただきました。



講義の様子

< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

(オープン講座)

日 時：平成28年12月1日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

三重大学生物資源学研究科の葛葉泰久教授を招き、今年度2回目のオープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方などを学びました。



講義の様子

< 第7回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

日 時：平成29年1月26日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

災害時に支援が必要な方への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚障がい、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障がい者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行いました。



講義の様子

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成29年2月26日(日)

13:00~16:00

場 所：津市中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表しました。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されました。



閉校式の様子

< 視察研修 >

日 時：平成29年2月12日（終日）

研修先：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター  
大黒公園

人と防災未来センターでは、震災当時の様子を忠実に再現した映画の他、被災した町の様子をリアルに再現したジオラマ、当時の避難所の様子や支援活動、復興活動に関する多くの展示資料などの見学を行い防災意識の向上を図りました。

大黒公園では、震災当時の様子、その後の復興の過程などについて、当時を知る皆さんから直接お話を伺い、そのあと復興した町を見学しました。



視察研修の様子

## 『平成29年度（第11期）津市民防災大学事業概要』

平成29年10月から平成30年2月まで防災知識の豊富な人材を育成し、災害に強く、安全で安心なまちづくりを目的に、平成29年度（第11期）津市民防災大学を開講します。

津市民防災大学は、市民や各分野の専門家、当大学修了生で構成された実行委員会が中心となり、受講生自らが主体的に参加し、「楽しく体験して学ぶ」ことに重点を置き、企画・立案を行っています。

また、津市民防災大学では、グループでのワークショップやタウンウォッチング、視察研修等の事業を実施し、これらを通して防災知識を深めるだけでなく、防災に関心のある市民のつながりづくりや受講生と関係者が一体となった、活力ある市民のまちづくりに向けた事業を行っています。

### < 事業概要等 >

開講期間 平成29年10月5日（木）から平成30年2月18日（日）まで

受講者数 39名

実施主体 津市民防災大学実行委員会

### < 開講式 第1回講義 地震防災学総論 >

日 時：平成29年10月5日（木）

19:00～21:00

場 所：津市中央公民館

開講式が行われた後、「防災に関する基礎講義」として、三重大学大学院工学研究科准教授 川口淳氏から地震に関する基礎知識を学びました。



講義の様子

### < 第2回講義 実習 I >

日 時：平成29年10月15日（日）

9:00～16:00

場 所：津市中央公民館

「タウンウォッチング及び災害図上演習」として、日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸氏の指導のもと、災害時に危険な場所や津波避難ビルなどを記録しながら、各班に分かれて中央公民館周辺を防災の観点で歩き、それを基に受講生自ら防災マップ作成を行い、午後からは、災害図上演習（図上訓練）を行い、津波からの避難、要配慮者の避難などの想定をした図上演習と発表を行いました。



講義の様子

< 第3回講義 地域防災学詳論Ⅰ >

日 時：平成29年11月6日（月）  
19:00～21:00

場 所：アスト津

京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也教授を招き、阪神淡路大震災の経験をもとに作成された防災ゲーム「クロスロード」を学習します。講義では、大規模災害時に判断に迷う場面を想定した質問に対し、それぞれが出した結論の理由などをグループで討論し、発表を行いました。



講義の様子

< 第4回講義 地域防災学詳論Ⅱ >

（オープン講座）

日 時：平成29年11月25日（土）  
13:30～16:30

場 所：中央公民館

今年度も、オープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、「市民とともに進める津市の防災行政」と題して、津市の各種防災施策の説明、参加者とのディスカッションを行いました。

また、今年度は語り部 KOBE 1995 より講師をお招きして、阪神淡路大震災の被災体験談をお話いただきました。



講義の様子

< 第5回講義 地域防災学詳論Ⅲ >

（オープン講座）

日 時：平成29年12月7日（木）  
19:00～21:00

場 所：津市中央公民館

三重大学生物資源学研究科の葛葉泰久教授を招き、今年度2回目のオープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、風水害を中心とした自然災害に対して「リスク」と「ベネフィット」の切り口から想像力の大切さ、想定外に対する考え方等を学びました。



講義の様子

< 第6回講義 地域防災学詳論Ⅳ >

(オープン講座)

日 時：平成30年1月18日(木)

19:00~21:00

場 所：津市中央公民館

今年度3回目のオープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、災害時に支援が必要な方への対応として、津市ボランティア協議会に所属するアレルギーや聴覚 障がい、自閉症等の方のお話を聞いた後、視覚障がい者の避難時を想定したガイドヘルプ体験を行いました。



講義の様子

< 第7回講義 実習Ⅱ >

(オープン講座)

日 時：平成30年2月4日(日)

13:30~16:30

場 所：津市中央公民館

今年度4回目のオープン講座として受講生以外の市民にも参加を呼び掛け、自主防災組織の取組や防災大学修了生の取組について講演しました。



講義の様子

その後、「これからの自主防災活動について」～私たちにできること～と題して、自主防災組織や防災リーダーとして活動する内容等についてディスカッションを行いました。

< 第8回講義 卒業論文発表会 閉講式 >

日 時：平成30年2月18日(日)

13:30~16:30

場 所：津市中央公民館

津市民防災大学の卒業に当たり、各受講生がこれまでに学んだことや今後に向けての抱負等を発表します。

その後、閉講式が行われ、所定の要件を満たした受講生には、修了証書が川口学長から授与されます。



閉校式の様子

< 視察研修 >

日 時：平成29年12月12日（終日）

研修先：中村町公会所付近、津市防災物流施設、  
香良洲高台防災公園

中村町公会所付近では、土砂災害の被害のあった箇所が復旧した場所を見学しました。その後、香良洲高台公園に移動し、防災倉庫や避難場所について学びました。

そして、津市防災物流施設に移動し、施設内の見学を行い、備蓄品や設備等について学びました。



視察研修の様子